

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：生命倫理・動物福祉		谷川	■ 1年 前期
到達目標	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。		2単位 32時数
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	生命倫理の概念	生命倫理の考え方について理解する	
2	動物福祉の概念	動物福祉の考え方について理解する	
3	動物福祉の概念	「5つの自由」(飢え・渇きからの自由、痛み・負傷・病気からの自由、不快からの自由、本来の行動がとれる自由、恐怖・抑圧からの自由)について理解する	
4	動物福祉の概念	世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動について理解する	
5	動物福祉の概念	「動物の権利」、「動物福祉」思想や課題について理解する	
6	動物福祉の概念	動物福祉の生理学的指標及び行動的指標による評価法について理解する	
7	動物福祉の概念	安楽死の考え方について理解する	
8	愛玩動物の福祉	愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題について理解する	
9	愛玩動物の福祉	国内外の動物保護活動の現状と課題について理解する	
10	愛玩動物の福祉	飼養放棄や殺処分問題、対策について理解する	
11	愛玩動物の福祉	動物のみだりな殺傷・虐待(積極的な虐待とネグレクト)の現状、対策	
12	産業動物の福祉	産業動物における福祉上の問題について理解する	
13	産業動物の福祉	産業動物の福祉を向上させるための具体的方法について理解する	
14	実験動物の福祉	3R(Replacement(代替)、Reduction(減)、Refinement(改善))の概念と具体的方法について理解する	
15	展示動物の福祉	展示動物における福祉上の問題について理解する	
16	期末テスト	動物取扱業などの復習。	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物形態機能学		月時	■ 1年 前期	
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	生体を構成する要素 細胞／組織／ホメオスタシス		
2	神経系の役割	神経の基本的構造①ニューロン ②有機神経と無髄神経		
3	脳・脊髄・神経	情報伝達のメカニズム		
4	脳・脊髄・神経	電氣的伝達／化学的伝達 神経伝達物質		
5	耳・眼（聴覚）	感覚器の役割①感覚の順応 ②感覚の投影		
6	耳・眼（視覚）	眼球の役割と構造②副眼器 ③視覚の仕組み		
7	テスト	神経系の筆記テスト ①聴覚 ②視覚		
8	試験解説	解説／理解状況の把握 次回以降の授業の検討		
9	脳・脊髄・神経	神経の分類①中枢神経 ②末梢神経③脊髄②大脳		
10	内分泌系／ホルモン	内分泌系の役割 視床下部 下垂体 成長ホルモン プロラクチン/パロプロラクチン		
11	内分泌系／ホルモン	甲状腺のホルモン/カルシウムとリンの代謝 副腎のホルモン/膵臓のホルモン		
12	血液・リンパ・免疫	血液・リンパ系の役割と構造 ①血液 ②リンパ系		
13	血液・リンパ・免疫	生体防御の仕組み ①非特異的防御機構②特異的防御機構		
14	咽喉頭	呼吸器系の役割と構造		
15	テスト	最終筆記テスト		
16	試験解説	テストの解説、間違いが多いポイントの指摘 再学習が必要な箇所抽出		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物形態機能学		月時	■ 1年 後期	
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	感覚器系	眼、耳の構造。味覚、嗅覚、 痛覚の仕組み		
3	内分泌系	内分泌機能と作用。 ホルモンの働き		
4	内分泌系	内分泌機能と作用。 ホルモンの働き		
5	消化器系	消化器の構造とはたらき		
6	消化器系	消化器の構造とはたらき		
7	中間テスト	筆記テスト		
8	解答・解説	テスト解説		
9	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
10	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
11	呼吸器系	呼吸器の成り立ちと構造		
12	循環器系	心臓		
13	循環器系	リンパ		
14	泌尿器系	泌尿器系の成り立ちと構造		
15	テスト	筆記テスト		
16	解答・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学		月時	■ 2年 前期
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器 レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。	2単位 32時数	
		実務経験 獣医師	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	泌尿器系	泌尿器の仕組み	
3	泌尿器系	疾患・治療	
4	生殖器	生殖器の仕組み・疾患・治療	
5	消化器	消化器の仕組み	
6	消化器	疾患・治療	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却・解説	テスト解説	
9	呼吸器系	呼吸器系の仕組み	
10	呼吸器系	呼吸器系の仕組み	
11	呼吸器系	疾患・治療	
12	血液・リンパ系	仕組み	
13	血液・リンパ系	疾患・治療	
14	血管系	仕組み・疾患・治療	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却・解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学		月時	■ 2年 後期
到達目標	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。	2単位 32時数	
		実務経験 獣医師	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
3	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
4	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
5	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
6	生殖器	生殖器系（繁殖の仕組み）	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却解説	テスト解説	
9	皮膚	皮膚・被毛	
10	骨	骨・筋肉	
11	内分泌	内分泌系	
12	内分泌	内分泌系	
13	消化器	消化器系	
14	循環器	循環器系	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説 総まとめ	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物繁殖学		月時	■ 2年 前期	
到達目標	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	生殖器の形態と機能	生殖器（雌・雄）の基本構造について理解する		
2	生殖器の形態と機能	主要な性ホルモンの名称、産生部位及び標的器官について理解する		
3	生殖器の形態と機能	雄の繁殖生理について理解する		
4	生殖器の形態と機能	雌の繁殖生理について理解する		
5	性周期と交配	性成熟と発情徴候について理解する		
6	性周期と交配	排卵（自然排卵・交尾排卵）の仕組みについて理解する		
7	性周期と交配	性周期と腔細胞スメアの関係について理解する		
8	性周期と交配	交配適期の決定法について理解する		
9	妊娠と分娩	着床・発生・妊娠・胎子の発育について理解する		
10	妊娠と分娩	妊娠期間、偽妊娠について理解する		
11	妊娠と分娩	分娩と助産、帝王切開について理解する		
12	妊娠と分娩	去勢・不妊手術について理解する		
13	妊娠と分娩	人工授精について理解する		
14	新生子管理	新生子のための飼養環境について理解する		
15	新生子管理	初乳の意義と哺乳について理解する		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物行動学		間	■ 1年 前期	
到達目標	動物（犬）の本能行動と意味を理解する			2単位 32時数
				実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	到達イメージの説明		
2	犬の能力①	嗅覚・観察力		
3	犬の本能①	社会順位・狼との比較		
4	犬の本能②	繁殖・親子		
5	犬の本能③	独占欲・食欲・その他		
6	犬の学習①	条件付け		
7	テスト	筆記試験		
8	返却・解説 犬の学習②	刷り込み		
9	草食動物と肉食動物の違い	歯／消化管ウシ（ホルモン／産生部位／作用）の役割 腸の長さの違い		
10	草食動物と肉食動物の違い	草食動物（ウマ、ウサギ、モルモット） 雑食動物ブタ、ラット、ハムスター 肉食フェレット		
11	発達行動①	行動の発達（胎生期～高齢期）各期の行動を知る		
12	発達行動②	発達行動の特徴を覚える		
13	犬の学習③	罰（直接、間接） 選択行動		
14	犬の能力②	耳と尻尾の表情		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却・解説	行動予測		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物臨床栄養学		池上	■ 1年 前期	
到達目標	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶ			2単位 32時数 実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	栄養学総論	基礎栄養素 6大栄養素とその働き		
3	6大栄養素	水 たんぱく質		
4	6大栄養素	脂肪 ミネラル		
5	6大栄養素	ビタミン		
6	6大栄養素	炭水化物		
7	中間テスト	栄養素のまとめ試験		
8	テスト解説			
9	犬と猫の栄養要求の違い	体の構造の違い 必要な栄養素の違い		
10	犬と猫の栄養要求の違い	犬(猫)に必要な栄養素の特徴		
11	BCS評価とカロリー計算の仕方	BCS		
12	BCS評価とカロリー計算の仕方	エネルギー		
13	ペットフード表示の見方			
14	試験対策	前期の復習・補足		
15	最終試験			
16	解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物臨床栄養学		池上	■ 1年 後期	
到達目標	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶ			2単位 32時数
				実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	ライフステージ別の栄養管理	繁殖期 (妊娠期・授乳期)		
3	ライフステージ別の栄養管理	成長期 (哺乳期・離乳期・離乳後)		
4	ライフステージ別の栄養管理	成犬・成猫		
5	ライフステージ別の栄養管理	老犬・老猫		
6	ペットフードの種類	目的別 ライフステージ別		
7	中間試験			
8	返却・解説			
9	ペットフードの種類	水分含有量別 機能別		
10	関節 眼	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
11	ガン・肥満 泌尿器系	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
12	肝臓 心臓	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
13	消化器系 内分泌系	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
14	口腔疾患	各症状の原因・症状・栄養管理 食事管理		
15	最終試験			
16	返却・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：比較動物学		待鳥	■ 2年 前期
到達目標	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。		2単位 32時数
			実務経験 犬の訓練施設勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
2	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
3	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
4	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
5	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
6	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
7	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
8	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
9	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
10	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
11	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
12	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
13	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
14	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
15	動物の種類及び特性	愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物等の飼養動物と野生動物を比較しながら、その歴史、社会的位置づけ及び特徴	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：比較動物学		待鳥	■ 2年 後期
到達目標	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	産業動物	家畜（馬・牛・めん羊・山羊・豚・鶏）の歴史と品種、特徴について理解する	
2	産業動物	各家畜の消化器の形態と機能、食性について理解する	
3	産業動物	各家畜の性周期と繁殖生理について理解する	
4	産業動物	各家畜の飼養施設の概要について理解する	
5	産業動物	各家畜の食性と飼養法について理解する	
6	実験動物	動物実験の目的、意義について理解する	
7	実験動物	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法について理解する	
8	実験動物	遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御について理解する	
9	実験動物	疾患モデル動物について理解する	
10	野生動物	野生動物の分類と生物多様性について理解する	
11	野生動物	鳥獣害の現状と保全の意義について理解する	
12	野生動物	絶滅危惧種の定義と含まれる動物、原因、保全方法について理解する	
13	野生動物	外来生物の定義、在来生態系に及ぼす影響、対策について理解する	
14	展示動物	展示動物の意義と動物園等の役割について理解する	
15	展示動物	動物園等における個体・群管理、行動管理について理解する	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物医療関連法規		月時	■ 2年 後期	
到達目標	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	動物関連法規	法とは何か 法の概念		
3	法令の種類	法令の種類		
4	獣医師法	法律の概念、条項		
5	獣医療法	法律の概念、条項		
6	ペットフード安全法	法律の概念、条項		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却解説	テスト解説		
9	身体障害者補助犬法	法律の概念、条項		
10	狂犬病予防法	法律の概念、条項		
11	感染症法	法律の概念、条項		
12	家畜伝染病予防法	法律の概念、条項		
13	鳥獣保護管理法	法律の概念、条項		
14	その他	その他の法令		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説 総まとめ	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物愛護・適正飼養関連法規		谷川	■ 1年 後期
到達目標	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する		2単位 32時数
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	愛護・適正飼養の基本となる概念	愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する	
2	愛護・適正飼養の基本となる概念	愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する	
3	愛護・適正飼養関連行政法規	動物の愛護及び管理に関する法律の概要について理解する	
4	愛護・適正飼養関連行政法規	愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律の概要について理解する	
5	社会福祉行政・環境衛生法規	身体障害者補助犬法について概要を理解する	
6	社会福祉行政・環境衛生法規	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の概要について理解する	
7	社会福祉行政・環境衛生法規	化製場等に関する法律の概要について理解する	
8	野生動物等に関する法律及び条約	生物多様性の概要について理解する	
9	野生動物等に関する法律及び条約	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の概要について理解する	
10	野生動物等に関する法律及び条約	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の概要について理解する	
11	野生動物等に関する法律及び条約	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の概要について理解する	
12	野生動物等に関する法律及び条約	愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わりについて理解する	
13	野生動物等に関する法律及び条約	特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約の概要について理解する	
14	野生動物等に関する法律及び条約	自然公園法における野生動植物保護に関する制度を理解する	
15	野生動物等に関する法律及び条約	文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度を理解する	
16	テスト	最終テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物看護学総論		池上	■ 2年 前期
到達目標	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。		2単位 32時数
			実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	獣医療の歴史	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
3	動物看護の資格化の軌跡	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
4	動物看護の資格化の軌跡	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
5	動物看護学総論	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
6	動物看護学総論	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却解説	テスト解説	
9	動物看護師の需要と必要性	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
10	動物看護師の需要と必要性	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
11	倫理観	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
12	倫理観	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
13	インフォームドコンセント	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
14	インフォームドコンセント	獣医療の歴史、動物看護の歴史、資格制度、職域、職務範囲、動物看護師の倫理綱領、獣医療倫理、インフォームドコンセント	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説 総まとめ	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物病理学		平野	■ 2年 前期
到達目標	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2単位 32時数	
		実務経験 獣医師	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	薬理学総論	薬理学の基礎	
3	薬理学総論	薬理学の基礎	
4	薬理学総論	薬理学の基礎	
5	薬理学総論	薬理学の基礎	
6	薬理学総論	薬理学の基礎	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却・解説	テスト解説	
9	薬剤	神経系に作用する薬	
10	薬剤	抗炎症薬	
11	薬剤	循環器に作用する薬	
12	薬剤	呼吸器に作用する薬	
13	薬剤	泌尿器に作用する薬	
14	薬剤	ホルモン薬	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物薬理学		松尾	■ 2年 前期
到達目標	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明/学習のポイント 試験範囲	
2	動物病理学総論	病理学の意味役割 疾病の様々な原因	
3	動物病理学総論	疾病とホメオスタシスについて	
4	病気の変遷	病気の発生の機序について 病気の成り立ちと変遷、臓器の変化について理解	
5	細胞や組織に生じる変化	細胞傷害の過程、因子。細胞傷害を受けた 細胞の変化＝壊死とアポトーシス。萎縮	
6	退行性病変	組織の萎縮と変性。 壊死とアポトーシス。萎縮	
7	進行性病変	肥大と増生。細胞の増殖と組織の変化＝変性。 組織の修復と治癒＝再生。創傷の治癒。骨折の治癒	
8	テスト	筆記テスト	
9	循環器障害	血液の循環障害	
10	循環器障害	血液凝固と綿溶系	
11	循環器障害	血液の閉塞＝血栓症、 塞栓症、梗塞	
12	炎症	5大兆候。経過と治癒過程。 急性炎症と慢性炎症。	
13	腫瘍	腫瘍の定義と役割。 原因と発生のメカニズム。腫瘍の種類など	
14	奇形	先天異常。原因。分類	
15	組織票本	組織票本の作成法	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物病理学		平野	■ 2年 後期
到達目標	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	投与方法	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
3	投与方法	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
4	投与計算	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
5	薬物動態	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
6	半減期	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
7	テスト	筆記テスト	
8	返却・解説	テスト解説	
9	中毒	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
10	耐性	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
11	相互作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
12	薬剤管理	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
13	作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
14	作用	投薬法、投薬量計算、薬物動態、半減期、代表的な治療薬とその作用、副作用、薬物間相互作用、耐性、中毒、薬剤管理	
15	テスト	筆記テスト	
16	返却解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物感染症学		月時	■ 2年 前期	
到達目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。			2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	感染症の成立	感染症の定義。成立するための3要素		
3	感染と発症 感染の経路	潜伏期、不顕性感染、 日和見感染など		
4	感染経路の遮断 宿主の感受性	経口感染、経皮感染、 創傷感染、飛沫感染		
5	微生物	微生物の定義		
6	細菌	構造、分類、増殖、培養、治療		
7	中間テスト	筆記テスト		
8	真菌	構造と形態、検査法、治療、予防		
9	ウイルス	一般性状、構造、分類、 培養、増殖、変異、治療		
10	寄生虫	内部寄生虫		
11	寄生虫	外部寄生虫		
12	感染症	狂犬病、ジステンパー、 アデノウイルスなど		
13	免疫とアレルギー	免疫、アレルギー		
14	衛生管理	滅菌と消毒		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物感染症学		月時	■ 2年 後期
到達目標	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。		2単位 32時数
			実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	微生物	微生物について	
3	微生物	微生物について	
4	感染症	感染が成立するための3要素	
5	感染症予防	感染経路遮断法	
6	感染症予防	感染防御 免疫	
7	テスト	筆記テスト	
8	試験解説	テスト解説	
9	感染症予防	感染防御 免疫	
10	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
11	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
12	滅菌法と消毒	消毒と滅菌の定義・目的・ 方法・注意点	
13	滅菌法と消毒	小動物の滅菌法と消毒法	
14	滅菌法と消毒	外部からの病原微生物の侵入・ 持ち込み防止	
15	テスト	筆記テスト	
16	試験解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：公衆衛生学		松尾	■ 1年 後期	
到達目標	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	公衆衛生総論	定義。 公衆衛生における獣医療の役割		
3	環境衛生	環境衛生とは		
4	環境衛生	生活環境の保全、改善		
5	環境衛生	汚染対策 環境問題		
6	食品衛生	食品の安全確保、保存方法		
7	食品衛生	食品を介した人獣共通感染症		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	食中毒	食中毒とは		
10	食中毒	種類、原因、予防		
11	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌		
12	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌		
13	人獣共通感染症、薬剤耐性菌	人獣共通感染症、薬剤耐性菌		
14	疫学	定義、概要		
15	薬剤耐性	定義、対策		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学		永倉・松尾	■ 1年 前期
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明／学習のポイント 試験範囲	
2	一般的な管理	犬と猫の健康とは何か？ 食事と水、寝る場所の管理	
3	運動の管理	個体に適した運動量の算出、 安全な歩かせ方、歩行異常の見極め	
4	排出の管理	衛生的な排泄、排泄による 健康管理（異常の早期発見）匂い、便の状態	
5	病気の早期発見のための管理	健常時と異常なしぐさ、 容態の違いを知る	
6	定期的な健康診断	体重測定、検尿、検便、血液検査、 必要に応じて継続的な検査	
7	テスト	筆記テスト	
8	テスト解説・復習	テスト解説	
9	バイタルサインとは	生きている証拠を確かめる	
10	バイタルチェックと体重測定	バイタルチェックと体重測定	
11	保定法	様々な保定法	
12	食事の管理と関わり	人工的な給仕、 症状に合った調理	
13	輸液管理の基礎知識	輸液の意味、必要性、 輸液剤の種類	
14	輸液ルート	経口投与、皮下投与、 静脈内投与、腹腔内投与	
15	テスト	筆記テスト	
16	テスト解説	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学		松尾	■ 3年 後期
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。	2単位 32時数	
		実務経験 獣医師	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明／学習のポイント 試験範囲	
2	動物臨床看護学の学修法	犬と猫の健康とは何か？ 食事と水、寝る場所の管理	
3	動物看護師の礼節（ホスピタリティーマインド、）、マナー	個体に適した運動量の算出、 安全な歩かせ方、歩行異常の見極め	
4	動物看護に必要な犬・猫の観察の仕方とボディランゲージ	衛生的な排泄、排泄による 健康管理（異常の早期発見）匂い、便の状態	
5	動物のバイタルサインと保定法	健常時と異常なしぐさ、 容態の違いを知る	
6	動物のフィジカルアセスメント	体重測定、検尿、検便、血液検査、 必要に応じて継続的な検査	
7	経過に基づく動物看護と動物看護記録	記録	
8	動物の看護に必要な検査：検体検査および医療機器による検査	検査	
9	症状別の動物看護：発熱、疼痛、運動異常、食欲不振、多飲多尿、嘔吐など	生きている証拠を確かめる	
10	緊急時の看護：ショック、発作、呼吸困難の症状の把握と心肺蘇生	バイタルチェックと体重測定	
11	感染症に対する看護：感染予防、隔離	様々な保定法	
12	代謝疾患、腫瘍性疾患に対する看護	人工的な給仕、 症状に合った調理	
13	入院看護と在宅看護	輸液の意味、必要性、 輸液剤の種類	
14	動物の予防医学、健康維持のための看護	経口投与、皮下投与、 静脈内投与、腹腔内投与	
15	テスト	筆記テスト	
16	まとめ	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学		永倉・松尾	■ 1年 前期
到達目標	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。		2単位 32時数
			実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	学習内容説明/学習のポイント 試験範囲	
2	外科診療時の補助に必要な技術	外科診療時の補助に必要な技術とは	
3	無菌操作	無菌操作の重要性	
4	手術準備	手術前の動物に必要な情報。 アセスメント、飼い主への必要な指示	
5	手術準備	手術室の環境管理	
6	手術準備	滅菌と消毒	
7	テスト	筆記テスト	
8	テスト解説・復習	テスト解説	
9	手術施設、設備の準備と管理	衛生的管理と清掃 機器の管理と消耗品の管理とストック	
10	術者に必要な準備	手洗いの技術 術着の着衣の 着脱と介助 無菌の意味	
11	手術器具	器具の名称と用途 準備法	
12	消耗品管理	在庫管理の重要性 使用後使用前チェック チェック表の活用	
13	術前・術中の動物管理と看護	手術前の検査の有無 術前の食事飲水、排尿管理	
14	術後	術後の動物の管理観察	
15	テスト	筆記テスト	
16	テスト解説・犬の保定	テスト解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物内科看護学		松尾	■ 3年 後期	
到達目標	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	学習内容説明／学習のポイント 試験範囲		
2	動物外科看護学の目的看護師の役割術前検査としての一般身体検査	外科診療時の補助に必要な技術とは		
3	手術当日の一日の流れ術前評価、準備、消毒法、麻酔の導入、術中モニターについて	無菌操作の重要性		
4	手術の助手手術中の流れ手術器具、医療機械（電気メスなど）の使用方法	手術前の動物に必要な情報。 アセスメント、飼い主への必要な指示		
5	縫合法、結紮法麻酔の基礎知識ショックエマージェンシーの対応について	手術室の環境管理		
6	創傷管理術後の看護、感染予防のための抗生剤の基礎知識疼痛管理について	滅菌と消毒		
7	予防的手術（避妊、去勢手術）、術後起こり得る合併症について	術式		
8	生殖系疾患と外科的処置について 泌尿器系疾患と外科的処置について	処置		
9	消化器疾患と外科的処置について 循環器・呼吸器疾患と外科的処置について 頭頸部疾患と外科的処置について	衛生的な管理と清掃 機器の管理と消耗品の管理とストック		
10	消化器疾患と外科的処置について 循環器・呼吸器疾患と外科的処置について 頭頸部疾患と外科的処置について	手洗いの技術 術着の着衣の 着脱と介助 無菌の意味		
11	皮膚疾患と外科的処置について	器具の名称と用途 準備法		
12	腫瘍と外科処置腫瘍診断について	在庫管理の重要性 使用後使用前チェック チェック表の活用		
13	腫瘍と外科処置腫瘍診断について	手術前の検査の有無 術前の食事飲水、排尿管理		
14	運動器（骨・関節）と外科的処置について	術後の動物の管理観察		
15	テスト	筆記テスト		
16	まとめ	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物臨床学看護学総論		池上	■ 2年 後期	
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。		2単位 32時数 実務経験 動物病院勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
3	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
4	動物看護過程の概要と展開	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
5	動物看護記録	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
6	動物看護記録	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却解説	テスト解説		
9	QOL	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
10	QOL	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
11	ターミナルケア	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
12	ターミナルケア	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
13	死の看取りへの関わり	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
14	死の看取りへの関わり	事例、チーム獣医療、動物看護過程、動物看護記録、QOL、ターミナルケア		
15	テスト	筆記テスト		
16	返却解説 総まとめ	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床看護学各論		永倉	■ 1年 前期
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	循環器疾患	心臓の解剖・心不全	
3	循環器疾患	心臓の解剖・心不全	
4	循環器疾患	心臓の解剖・心不全	
5	循環器疾患	僧帽弁閉鎖不全・猫の心筋症	
6	循環器疾患	僧帽弁閉鎖不全・猫の心筋症	
7	循環器疾患	フィラリア症・門脈シャント	
8	循環器疾患	フィラリア症・門脈シャント	
9	呼吸器疾患	気管虚脱・猫の上部気道炎	
10	呼吸器疾患	気管虚脱・猫の上部気道炎	
11	呼吸器疾患	気管支炎・ケンネルコフ	
12	呼吸器疾患	気管支炎・ケンネルコフ	
13	呼吸器疾患	肺炎・胸腔疾患 膿胸など	
14	呼吸器疾患	肺炎・胸腔疾患 膿胸など	
15	試験対策	振替 復習など	
16	中間テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床看護学各論		永倉	■ 1年 後期
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞	
3	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞	
4	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞	
5	骨疾患	骨の構成・解剖・細胞	
6	骨疾患	骨折について（種類・特徴・治療）	
7	骨疾患	骨折について（種類・特徴・治療）	
8	骨疾患	脱臼（特徴・治療） 膝蓋骨脱臼	
9	骨疾患	脱臼（特徴・治療） 膝蓋骨脱臼	
10	骨疾患	股関節形成不全・脱臼・ レッグペルテス症	
11	骨疾患	股関節形成不全・脱臼・ レッグペルテス症	
12	骨疾患	椎間板ヘルニア 変液性脊椎症	
13	骨疾患	椎間板ヘルニア 変液性脊椎症	
14	ヘルニア疾患	ヘルニアについて 横隔膜ヘルニア・会陰ヘルニア	
15	ヘルニア疾患	ヘルニアについて 横隔膜ヘルニア・会陰ヘルニア	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床看護学各論		永倉	■ 2年 前期
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	眼疾患	角膜炎・結膜炎・乾性角膜炎	
3	眼疾患	白内障・緑内障	
4	眼疾患・耳疾患	眼底の病気（網膜など） 外耳炎	
5	泌尿器疾患	腎臓の仕組み・腎不全	
6	泌尿器疾患	尿路感染症・尿石症	
7	泌尿器疾患	泌尿器疾患の食事管理	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	内分泌疾患	ホルモンについて・糖尿病	
10	内分泌疾患	甲状腺機能亢進症・低下症	
11	内分泌疾患	副腎機能亢進症・ 上皮小体機能亢進症	
12	皮膚疾患	皮膚用語・膿皮症・脂漏症	
13	皮膚疾患	アレルギー性皮膚炎	
14	皮膚疾患	真菌症・内分泌性皮膚炎	
15	皮膚疾患	外部寄生虫性皮膚炎	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物臨床看護学各論		永倉	■ 2年 後期	
到達目標	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。			2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	泌尿器疾患	腎臓について・腎不全		
3	泌尿器疾患	尿路感染症		
4	泌尿器疾患	尿石症		
5	泌尿器疾患	予防と検査		
6	腫瘍	総論		
7	テスト	筆記テスト		
8	返却・解説	テスト解説		
9	腫瘍	腫瘍の例		
10	腫瘍	乳腺腫瘍・皮膚腫瘍		
11	腫瘍	骨腫瘍・猫のリンパ腫		
12	猫の伝染病	猫エイズ・猫白血病		
13	眼疾患	眼の解剖・眼瞼の病気		
14	眼疾患	角膜炎・結膜炎・乾性角結膜炎		
15	眼疾患	白内障・緑内障・眼底疾患		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学		永倉・松尾	■ 2年 後期
到達目標	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	輸液療法	器具・つなぎ方・流量の計算	
3	血液検査	血液の成分とその役割 採血について・抗凝固剤	
4	血液検査	一般検査・検査方法	
5	血液検査	白血球の分類・特徴	
6	血液検査	血液の染色・顕微鏡操作 生化学検査・検査方法	
7	実技テスト	実技テスト	
8	筆記テスト	筆記テスト	
9	糞便検査	検査の意義・ベンの特徴 内部寄生虫について	
10	糞便検査	検査の意義・ベンの特徴 内部寄生虫について	
11	糞便検査	内部寄生虫の虫卵・原虫 検査方法	
12	糞便検査	再度検査と復習	
13	骨疾患の検査	骨格標本・膝蓋骨の触診 膝の靭帯の検査	
14	骨疾患の検査	股関節の検査・神経検査	
15	実技テスト	実技テスト	
16	筆記テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物医療コミュニケーション		池上	■ 2年 前期	
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個性に動きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する 幼齢動物・老齢動物の看護・ケア・管理・疾患について学ぶ			2単位 32時数
				実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	クライアントサービス	体の仕組み・バイタルサイン		
3	クライアントサービス	看護過程の流れ		
4	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
5	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
6	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
7	クライアントサービス	事例を見ながら解説		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	解答・解説	テスト解説		
10	接遇とホスピタリティ	シミュレーション		
11	社会人コミュニケーション	シミュレーション		
12	診察室でのコミュニケーション	シミュレーション		
13	受付でのコミュニケーション	シミュレーション		
14	院内スタッフ指導 グリーフケア	看取り、お別れ、お見送り、 ペットロス		
15	テスト	筆記テスト		
16	解答・解説	テスト解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：愛玩動物学		谷川	■ 1年 前期	
到達目標	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。			2単位 32時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	歴史と品種	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する		
2	歴史と品種	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する		
3	歴史と品種	犬の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する		
4	歴史と品種	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する		
5	歴史と品種	猫の歴史と代表的な品種、その活用や被毛の手入れ（品種に適したグルーミングなど）について理解する		
6	歴史と品種	代表的なエキゾチック動物の種類と特徴、生態について理解する		
7	歴史と品種	血統と血統書について理解する		
8	使役動物	使役動物（犬、その他の動物）の歴史と福祉について理解する		
9	使役動物	使役動物（犬、その他の動物）の歴史と福祉について理解する		
10	使役動物	補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の歴史と現状について理解する		
11	使役動物	補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の歴史と現状について理解する		
12	使役動物	補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の役割と育成、適性について理解する		
13	使役動物	補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の役割と育成、適性について理解する		
14	使役動物	その他の使役犬（災害救助犬、警察犬、麻薬探知犬、検疫探知犬など）		
15	使役動物	その他の使役犬（災害救助犬、警察犬、麻薬探知犬、検疫探知犬など）		
16	期末テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：愛玩動物学		谷川	■ 1年 前期	
到達目標	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。			2単位 32時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	愛玩動物の飼養管理	犬の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練など）について理解		
2	愛玩動物の飼養管理	犬の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練など）について理解		
3	愛玩動物の飼養管理	犬の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢、社会化訓練など）について理解		
4	愛玩動物の飼養管理	猫の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢）		
5	愛玩動物の飼養管理	猫の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢）		
6	愛玩動物の飼養管理	猫の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理、不妊去勢）		
7	愛玩動物の飼養管理	愛玩鳥の適切な飼養管理方法（飼養環境、体調管理など）について理解		
8	愛玩動物の飼養管理	愛玩鳥の適切な飼養管理方法（飼養環境、体調管理など）について理解		
9	愛玩動物の飼養管理	代表的なエキゾチック動物（ウサギ、ハムスターなど）の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理など）について理解する		
10	愛玩動物の飼養管理	代表的なエキゾチック動物（ウサギ、ハムスターなど）の適切な飼養管理方法（飼養上の特徴、飼養環境、体調管理など）について理解する		
11	動物の基本的な取扱い	動物を安全に散歩・運動・ふれあいをさせることの意義について理解する		
12	動物の基本的な取扱い	動物を安全に散歩・運動・ふれあいをさせることの意義について理解する		
13	動物の基本的な取扱い	基本的グルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理など）の目的・方法について理解する		
14	動物の基本的な取扱い	基本的グルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理など）の目的・方法について理解する		
15	動物の基本的な取扱い	適切な飼養環境やストレスの緩和方法について理解する		
16	期末テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：人と動物の関係学		松尾	■ 1年 後期	
到達目標	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会的側面から理解する。			2単位 32時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業概要／学習範囲		
2	AAA AAT AAEについて			
3	施設への導入、現状 日本の活動			
4	世界の活動 資格			
5	セラピーの適応者、動物 活動方法			
6	セラピーの適応者、動物 活動方法			
7	試験対策			
8	中間テスト	筆記テスト		
9	動物への注意			
10	セラピー効果の注意点			
11	セラピー効果の注意点			
12	動物への注意			
13	参加動物のチェック			
14	活動について			
15	活動について			
16	テスト	筆記試験		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名： 適正飼養指導論		谷川	■ 3年 後期	
到達目標	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	研修評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	愛玩動物の飼養	愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する		
2	愛玩動物の飼養	愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する		
3	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養の現状について理解する		
4	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養の現状について理解する		
5	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する		
6	愛玩動物の飼養	愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する		
7	愛玩動物の飼養	愛玩動物の飼養のニーズや目的、グリーフケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を踏まえた必要な支援について理解する		
8	愛玩動物の飼養	愛玩動物の飼養のニーズや目的、グリーフケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を踏まえた必要な支援について理解する		
9	適正飼養の推進	適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む。）		
10	適正飼養の推進	適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む。）		
11	適正飼養の推進	動物取扱業者における適正飼養について理解する		
12	適正飼養の推進	動物取扱業者における適正飼養について理解する		
13	適正飼養の推進	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する		
14	適正飼養の推進	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する		
15	適正飼養の推進	問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名： 適正飼養指導論		谷川	■ 3年 後期	
到達目標	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	研修評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	災害危機管理と支援	災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる		
2	災害危機管理と支援	災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる		
3	災害危機管理と支援	愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる		
4	災害危機管理と支援	愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる		
5	災害危機管理と支援	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する		
6	災害危機管理と支援	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する		
7	動物愛護管理行政	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する		
8	動物愛護管理行政	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する		
9	動物愛護管理行政	動物愛護週間の役割と実施状況について理解する		
10	動物愛護管理行政	犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する		
11	動物愛護管理行政	犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する		
12	動物愛護管理行政	動物による事故の内容と報告状況について理解する		
13	動物愛護管理行政	動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割について理解する		
14	動物愛護管理行政	動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する		
15	動物愛護管理行政	動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物生活環境学		池上	■ 3年 前期	
到達目標	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。			2単位 32時数
				実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	飼養環境整備	動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法(問題行動予防を含む。)について		
2	飼養環境整備	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法について理解する		
3	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン	ペットツーリズムの現状と実施方法について理解する		
4	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン	ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法について理解する		
5	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン	ドッグランの環境整備・管理の方法について理解する		
6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興について理解する		
7	保護収容施設	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルター		
8	保護収容施設	動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動について理解する		
9	ペットへの教育・訓練施設	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等について理解する		
10	動物介在教育施設	学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法について理解する		
11	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	飼育マナーの必要性や目的について理解する		
12	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違いについて理解する		
13	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例について理解する		
14	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナーについて理解する		
15	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応	ペット保険の仕組みと実態について理解する		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：ペット関連産業概論		池上	■ 3年 後期
到達目標	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。		2単位 32時数 実務経験 動物病院勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	責任と社会的役割を理解する（職業倫理）	
2	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	責任と社会的役割を理解する（職業倫理）	
3	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	責任と社会的役割を理解する（職業倫理）	
4	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	商取引における関連法規の概要について理解する	
5	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	商取引における関連法規の概要について理解する	
6	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	商取引における関連法規の概要について理解する	
7	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する	
8	ペット関連産業における職業倫理（行動倫理を含む。）	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法について理解する	
9	2. ペットの飼養実態と市場規模	ペットの飼養実態及びペット関連産業の概要・市場規模について理解する	
10	2. ペットの飼養実態と市場規模	ペットの飼養実態及びペット関連産業の概要・市場規模について理解する	
11	各ペット関連産業の現状と課題	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービス（生体分野、美容・ヘルスケア分野、レクリエーション・観光分野、葬儀・霊園分野、獣医療分野、ペット共生住宅・マンション分野など）の現状と課題を理解する	
12	各ペット関連産業の現状と課題	ペットフード、ペット用品、ペット関連サービス（生体分野、美容・ヘルスケア分野、レクリエーション・観光分野、葬儀・霊園分野、獣医療分野、ペット共生住宅・マンション分野など）の現状と課題を理解する	
13	動物取扱業	動物取扱業制度の概要について理解する	
14	動物取扱業	動物取扱業制度の概要について理解する	
15	動物取扱業	動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法や衛生管理に係る手法について	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能実習		永倉・松尾	■ 2年 前期期
到達目標	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	2単位 32時数	
		実務経験 獣医師	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／学習範囲	
2	動物形態機能学実習概論	体の構造	
3	動物形態機能学実習概論	体の構造	
4	用語	用語の理解	
5	骨・関節	骨格の理解。関節の構造、 はたらき。	
6	骨・関節	骨格の理解。関節の構造、 はたらき。	
7	実技テスト	実技テスト	
8	筆記テスト	筆記テスト	
9	内臓器官の位置	オスメスの内臓器官の位置と概観を知る。	
10	内臓器官の位置	オスメスの内臓器官の位置と概観を知る。	
11	深層の筋	筋のはたらき	
12	顕微鏡	顕微鏡操作、取り扱い	
13	顕微鏡操作	顕微鏡操作、取り扱い	
14	顕微鏡操作	顕微鏡操作、取り扱い	
15	実技テスト	実技テスト	
16	筆記テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物内科看護学実習		谷川・日高	■ 1年 前期	
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	学習内容説明/学習のポイント 試験範囲		
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック		
3	グルーミング	同上		
4	グルーミング	同上		
5	グルーミング	同上		
6	グルーミング	同上		
7	グルーミング	同上		
8	中間テスト	犬の扱い方を確認		
9	グルーミング	担当犬の健康チェック		
10	グルーミング	担当犬の健康チェック		
11	グルーミング	同上		
12	グルーミング	同上		
13	グルーミング	同上		
14	グルーミング	同上		
15	グルーミング	同上		
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物内科看護学実習		谷川	■ 1年 後期	
到達目標	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	グルーミング	犬の健康チェック/グルーミング		
3	グルーミング	同上		
4	グルーミング	同上		
5	グルーミング	同上		
6	グルーミング	同上		
7	グルーミング	同上		
8	中間テスト	犬の扱い方を確認		
9	グルーミング	犬の健康チェック/グルーミング		
10	グルーミング	同上		
11	グルーミング	同上		
12	グルーミング	同上		
13	グルーミング	同上		
14	グルーミング	同上		
15	グルーミング	同上		
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		松尾・永倉	■ 2年 前期
到達目標	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	身体一般検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
3	血液検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
4	血液検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
5	尿検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
6	糞便検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
7	実技テスト	テスト	
8	筆記テスト	テスト	
9	細胞診	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
10	細胞診	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
11	心電図検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
12	X線検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
13	超音波検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
14	神経学的検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査	
15	実技テスト	テスト	
16	筆記テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物臨床検査学実習		松尾・永倉	■ 2年 後期	
到達目標	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。			2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	神経学的検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
3	内視鏡検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
4	内視鏡検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
5	CT MRI検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
6	CT MRI検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
7	実技テスト	テスト		
8	筆記テスト	テスト		
9	皮膚検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
10	皮膚検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
11	眼科検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
12	眼科検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
13	外耳道検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
14	外耳道検査	血液検査(血球検査、生化学検査)、尿検査、糞便検査、細胞診、心電図、X線検査、超音波検査、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査		
15	実技テスト	テスト		
16	筆記テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物外科看護学実習		松尾・永倉	■2年 後期	
到達目標	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	外科診療時の補助	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
3	手術準備	繁殖周期・交配適期手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
4	手術準備	スミア検査・妊婦診断手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
5	手術室管理 消毒	分娩の介助・帝王切開手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
6	術者の準備	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
7	実技テスト	テスト		
8	筆記テスト	テスト		
9	手術器具	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
10	危険物管理	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
11	動物管理と看護	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
12	術中の補助	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
13	麻酔	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
14	術後の管理	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命		
15	実技テスト	テスト		
16	筆記テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物外科看護学実習	松尾・永倉	■3年 前期
到達目標	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	
	2単位 32時数 実務経験 獣医師	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準
	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)
1	導入授業	授業概要、学習範囲
2	実習スケジュールの説明	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
3	心肺蘇生法(BLS)	繁殖周期・交配適期手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
4	心肺蘇生法(BLS)	スミア検査・妊婦診断手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
5	心肺蘇生法(ACLS)	分娩の介助・帝王切開手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
6	心肺蘇生法(ACLS)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
7	心肺蘇生法一連の流れ	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
8	心肺蘇生法一連の流れ	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
9	手術補助(縫合、抜糸の補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
10	手術補助(メス刃のつけはずし、電気メス)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
11	外科手術の流れ確認	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
12	外科手術の流れ①	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
13	外科手術の流れ②	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
14	外科手術の流れ③	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
15	実技テスト	テスト
16	筆記テスト	テスト

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物外科看護学実習	松尾・永倉	■3年 後期
到達目標	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2単位 32時数 実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題) 備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲
2	創傷管理、包帯法	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
3	創傷管理、包帯法	繁殖周期・交配適期手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
4	創傷管理、包帯法	スミア検査・妊婦診断手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
5	創傷管理、包帯法	分娩の介助・帝王切開手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
6	創傷管理、包帯法	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
7	創傷管理、包帯法	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
8	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
9	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
10	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
11	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
12	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
13	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
14	緊急時の対応(問診、準備、補助)	手術準備(動物・手術器具)、術中管理、術後管理、抜糸、包帯法、麻酔準備、麻酔監視、手術助手、創傷管理、歯科処置、救急救命
15	実技テスト	テスト
16	筆記テスト	テスト

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床看護学実習		松尾	■ 3年 後期
到達目標	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数
			実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	動物看護過程	動物看護過程の展開	
3	動物看護過程	動物看護過程の展開	
4	動物看護過程	動物看護過程の展開	
5	動物看護過程	動物看護過程の展開	
6	動物看護過程	入院動物看護	
7	動物看護過程	入院動物看護	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	動物看護記録	動物看護記録の作成	
10	動物看護記録	動物看護記録の作成	
11	動物看護記録	動物看護記録の作成	
12	動物看護記録	動物看護記録の作成	
13	動物看護記録	動物看護記録の作成	
14	ペインスケール	痛みの評価	
15	ペインスケール	痛みの評価	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床看護学実習		松尾	■ 3年 後期
到達目標	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。		2単位 32時数
			実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	動物看護過程	動物看護過程の展開	
3	動物看護過程	動物看護過程の展開	
4	動物看護過程	動物看護過程の展開	
5	動物看護過程	動物看護過程の展開	
6	動物看護過程	入院動物看護	
7	動物看護過程	入院動物看護	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	動物看護記録	動物看護記録の作成	
10	動物看護記録	動物看護記録の作成	
11	動物看護記録	動物看護記録の作成	
12	動物看護記録	動物看護記録の作成	
13	動物看護記録	動物看護記録の作成	
14	ペインスケール	痛みの評価	
15	ペインスケール	痛みの評価	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物愛護・適正飼養実習		吉満	■ 3年 前期
到達目標	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	8単位 128時数	
		実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価に基づき学校の教員が成績評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	動物の基本的な取扱い	動物種に応じた安全なハンドリングができる	
2	動物の基本的な取扱い	動物種に応じた安全なハンドリングができる	
3	動物の基本的な取扱い	動物を安全に散歩・運動させることができる	
4	動物の基本的な取扱い	犬の散歩や運動、ふれあいのために、適切な道具（首輪、胴輪、リード、おもちゃなど）を選択すること	
5	動物の基本的な取扱い	基本的なグルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理）	
6	動物の基本的な取扱い	基本的なグルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理）	
7	動物の基本的な取扱い	基本的なグルーミング（シャンプー、ブラッシング、耳掃除、爪切り、肛門嚢処置、口腔内衛生管理）	
8	動物の基本的な取扱い	動物の飼養環境を適切に整備できる	
9	飼い主とのコミュニケーション	犬や猫の品種に応じた特徴について説明できる	
10	飼い主とのコミュニケーション	動物の適切な飼養方法（飼養環境、散歩方法、基本的なしつけなどを含む。）について指導できる	
11	飼い主とのコミュニケーション	飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について指導できる	
12	飼い主とのコミュニケーション	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援を説明できる	
13	飼い主とのコミュニケーション	避難所等災害時の飼い主への支援を説明できる	
14	動物愛護管理行政	動物愛護管理センターの活動を理解する（動物愛護管理センターの見学などを含む。）	
15	動物愛護管理行政	動物取扱業に指導すべき内容について理解する	
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物看護総合実習		動物病院	■ 3年 後期	
到達目標	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。			8単位 128時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		研修評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	インターンシップ			
2	インターンシップ			
3	インターンシップ			
4	インターンシップ			
5	インターンシップ			
6	インターンシップ			
7	インターンシップ			
8	インターンシップ			
9	インターンシップ			
10	インターンシップ			
11	インターンシップ			
12	インターンシップ			
13	インターンシップ			
14	インターンシップ			
15	インターンシップ			
16	インターンシップ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：動物看護総合実習		動物病院	■ 3年 後期	
到達目標	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。			8単位 128時数
				実務経験 獣医師
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	研修評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	インターンシップ			
2	インターンシップ			
3	インターンシップ			
4	インターンシップ			
5	インターンシップ			
6	インターンシップ			
7	インターンシップ			
8	インターンシップ			
9	インターンシップ			
10	インターンシップ			
11	インターンシップ			
12	インターンシップ			
13	インターンシップ			
14	インターンシップ			
15	インターンシップ			
16	インターンシップ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：キャリアガイダンスⅠ		江川 雅美	■ 1年 前期	
到達目標	・自分発見（ワークを通して自分と向き合うことで気づきを促し「自分発見」に繋げる）		2単位 32時数	
	・企業リサーチ ・PR動画作成の準備		実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業 (授業の進め方、成績のつけ方など説明)	授業の内容を理解し、就職に向けた取り組み を理解する		
2	就職までの流れ 自己理解1(ビヘイビアタイプ、エゴグラム)	自己理解とはどのようなことかを知る 素直に受け止める力を身につける		
3	自己理解2(願望の発見、自分はどんな人?)	自己理解 今まで考えてこなかったことを実際に具体化する		
4	自己理解3(欲望チェック)	自分の欲望がどのくらい存在しているか確認 無い人は欲を出すことの必要性を知る		
5	自己理解4(他信)	周りから見た自分を知る 素直に前向きに受け止める力を養う		
6	自己イメージの確立1 (現在のライフスタイル、理想の自分、こころの地図)	今の自分を客観的に見て理想とのかけ離れが無いか自己分析 理想を明確にし、目標を設定する		
7	自己イメージの確立2 (価値のリレーション)	価値とは何かを理解する		
8	アピールポイント (振り返って自分についてまとめる)	表現力の強化		
9	自分の方向性・優先順位と企業の選び方 企業リサーチとは、リサーチの仕方・ポイント	基本的な流れを理解し、行動する		
10	挨拶、礼儀、マナーなど①	対人からの見え方、受ける印象を理解する		
11	挨拶、礼儀、マナーなど②	心地よい挨拶、印象に残るなど社会人スキルと言われる ことは何かを理解する		
12	希望企業の選定（5社くらいに絞る）			
13	PR動画撮影に向けて① (自己PR、好きな教科、趣味・特技など作ってみる)			
14	PR動画撮影に向けて② (PR動画の構成を考える(内容や作品など))			
15	PR動画撮影に向けて③ (構成に合わせてスピーチ内容を練り直し)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：キャリアガイダンスⅡ		江川 雅美	■ 1年 後期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ PR動画を作成する ・ 業界EXPOの為の準備 ・ 就職試験、面接、オンライン面接の対策 			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	PR動画用の自己PR修正、作品準備			
2	PR動画撮影①			
3	PR動画撮影②			
4	業界EXPO対策① (マナー、話し方、聞き方など)			
5	業界EXPO対策② (企業に質問したいことなどを考える)			
6	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
7	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
8	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
9	面接対策① (対策シート作成)			
10	面接対策② (対策シート練り直し)			
11	オンライン面接対策① (オンライン面接時の注意点など)			
12	オンライン面接対策② (オンライン面接の体験)			
13	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
14	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
15	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：office演習	小磯	■ 1 年 前期	
到達目標	1、Wordの基本操作 2、ビジネス文書の作成習得 3、Word文書処理技能認定試験3級の取得		2単位 32時数
			実務経験 情報システム企業勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	授業内容説明、Word-基本操作		Word2019基本編
2	文書編集 ビジネス文書の基本的な編集作業		Word2019基本編
3	印刷設定・文書編集問題 ヘッダーフッター・印刷設定・文書編集を行い機能を習得する	ビジネス文書編集問題	Word2019基本編
4	文書作成 ビジネス文書作成のためのテクニック		Word2019基本編
5	文書作成問題 文書編集・文書作成をまとめた書類を作成する	ビジネス文書作成問題	Word2019基本編
6	表を使った文書作成 表が入ったビジネス文書を作成し、表の使い方を習得する		Word2019基本編
7	表を使った文書作成問題 表作成をメインに表の使い方を学ぶための問題を行っていく	表を使用したビジネス文書表作成問題	Word2019基本編
8	図形や画像を使った文書の作成 ポスターやチラシなど、ビジネス文書以外の書類の作成	図形作成問題	Word2019基本編
9	総合学習問題 Word2019基本編第2部問題演習編	Wordの2019基本編テキストの総合問題	Word2019基本編
10	Word3級問題集 問題集の模擬問題1の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題1	Word文書処理技能認定試験3級問題集
11	Word3級問題集 問題集の模擬問題2の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題2	Word文書処理技能認定試験3級問題集
12	Word3級問題集 問題集の模擬問題3の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題3	Word文書処理技能認定試験3級問題集
13	Word3級問題集 問題集の模擬問題4の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題4	Word文書処理技能認定試験3級問題集
14	Word3級問題集 問題集の模擬問題5の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題5	Word文書処理技能認定試験3級問題集
15	Word3級問題集 問題集の模擬問題6の作成を行い、作成後に解説します。	模擬問題6	Word文書処理技能認定試験3級問題集
16	最終テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：office演習	小磯	■ 1 年 後期	
到達目標	1、EXCELの基本操作	2単位 32時数	
	2、EXCEL表・グラフ作成 3、基本的な関数の使い方を身につける	実務経験 情報システム企業勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	Excel-入力方法・四則演算		Excel2019基本編
	全角半角での入力方法・四則演算・絶対参照		
2	Excel-表の編集		Excel2019基本編
	罫線・列・行幅・表を完成		
3	Excel-表の印刷と問題	表作成問題	Excel2019基本編
	ヘッダ・フッタの作成・印刷範囲の設定		
4	Excel-グラフ作成・図形描画		Excel2019基本編
	表を元に棒グラフ・円グラフの作成		
5	Excel-グラフ作成・図形描画問題	表作成グラフ作成問題	Excel2019基本編
	表作成・印刷設定・グラフ作成問題		
6	Excel-ブック管理・ウィンドウ操作・データベース機能		Excel2019基本編
	ワークシートの操作・ウィンドウ枠の固定・並べ替え・抽出		
7	Excel-関数		Excel2019基本編
	SUM/AVERAGE/MAX/MIN/COUNT/ROUND/IF/DATEDIF関数		
8	Excel-関数問題	関数問題	Excel2019基本編
	各関数を使用した表作成問題		
9	Excel-総合学習問題	Excel2019基本編の総合問題	Excel2019基本編
	Excel2019基本編の表・グラフ・関数を使用した総合問題		
10	Excel-総合問題1(表・関数)	四則演算・SUM/AVERAGE関数を使用した表作成問題	
11	Excel-総合問題2(表・グラフ・関数)	グラフを含めた表作成問題	
12	Excel-総合問題3(表・関数)	ROUND関数を含めた表作成問題	
13	Excel-総合問題4(表・関数)	日付関数を含めた表作成問題	
14	Excel-総合問題5(表・関数)	IF関数を含めた表作成問題	
15	Excel-総合問題5(表・関数)	OR,ANDを含めた複雑なIF関数を含めた表作成問題	
16	最終テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：サービス接遇Ⅰ		堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ			2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する			実務経験
	3、サービス接遇検定3級合格			放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	敬語①		現状の敬語力	
3	敬語②		小テスト／尊敬、丁寧	
4	敬語③		小テスト／謙譲語	
5	敬語④		小テスト／よく間違える敬語の使い方	
6	検定対策		模擬テスト	
7	検定対策		模擬テスト	
8	中間テスト		筆記テスト	
9	復習授業		前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
11	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
12	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
13	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
14	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
15	敬語・グループ研究		グループワーク／サービス接遇2級対策	
16	最終テスト		筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：サービス接遇Ⅰ		堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、振る舞いなどを学ぶ			2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する			実務経験
	3、サービス接遇検定3級合格			放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		クール開始授業説明、到達点について	
2	前期振り返り		理解できていないところの把握と克服	
3	敬語		過去問	
4	アナウンス文		場面に応じた文章作成・問題集	
5	掲示文		場面に応じた文章作成・問題集	
6	販売文		場面に応じた文章作成・問題集	
7	検定対策		模擬テスト	
8	中間テスト		筆記テスト・実技テスト	
9	導入授業		前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	電話対応		電話の受け方・名前伺い	
11	電話対応		聞き取り	
12	電話対応		伝言の受け方とメモ	
13	電話対応		会話のバトンタッチ	
14	電話対応		クレーム	
15	電話対応		ケーススタディ	
16	最終テスト		筆記テスト・実技テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミング概論		吉満	■ 1年 前期	
到達目標	トリマーとしての基礎知識を学ぶ 写真を見ながらイメージを持つ 道具の名称と使い方、トリミング用語をマスターさせる 各犬種のスタンダードスタイルを覚える			2単位 32時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		テスト・演習内容
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業の説明/注意		
2	トリミング道具の名称	取り扱い方法、消毒法、 トリミング用語		
3	スリッカーの使い方	注意点や持ち方 ウイッグ使用		
4	爪切り、耳掃除、血管や耳の構造について	実習で行っていることを覚えているか		
5	骨格について	耳・尾・背・目 四肢の犬種よっての違い		
6	足回りの作り方 ラムクリップ	足先バリカン 丸刈り(毛の流れ確認)・注意点確認		
7	中間テスト	テスト		
8	リボン作り	りぼんつけの練習も		
9	シザーリングテスト	ハサミのテスト		
10	トリミングとグルーミング	ラインの名称・被毛の性質		
11	スタンダードスタイル	シュナウザー・コッカーカット		
12	ペットクリップ	マルチーズ・シーズーの サマーカット		
13	ペットクリップ	ポメラニアンのカット・ ヨーキーのサマーカット		
14	スタンダードスタイル	ブードルのラムクリップ サマーマイアミ		
15	テスト	テスト		
16	スタンダードスタイル	スタンダードクリップのライン mm数		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：グルーミング		持田	■ 1年 後期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数
			実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
10	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：グルーミング		谷川	■ 2年 前期	
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける＋時間の意識		4単位 64時数	
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング		
3	グルーミング	同上		
4	グルーミング	同上		
5	グルーミング	同上		
6	グルーミング	同上		
7	グルーミング	同上		
8	中間テスト	犬の扱い方を確認		
9	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング		
10	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック グルーミング		
11	グルーミング	同上		
12	グルーミング	同上		
13	グルーミング	同上		
14	グルーミング	同上		
15	グルーミング	同上		
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：グルーミング		谷川	■ 2年 後期
到達目標	グルーミング基礎を覚える 個々の体型や状態を把握できるだけの観察力を身につける+時間の意識		4単位 64時数
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	グルーミング	実習開始前に担当犬の健康チェック	
3	グルーミング	同上	
4	グルーミング	同上	
5	グルーミング	同上	
6	グルーミング	同上	
7	グルーミング	同上	
8	中間テスト	犬の扱い方を確認	
9	グルーミング	担当犬の健康チェック	
10	グルーミング	担当犬の健康チェック	
11	グルーミング	同上	
12	グルーミング	同上	
13	グルーミング	同上	
14	グルーミング	同上	
15	グルーミング	同上	
16	テスト	2人で1頭仕上げる 道具の使い方、 犬の扱い方を確認 仕上がりの綺麗さ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：猫学		待鳥	■ 2年 前期	
到達目標	猫を理解する			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	猫について	歴史・進化		
3	猫について	現代史		
4	体の仕組み	聴覚・嗅覚		
5	行動	行動		
6	猫種	種類別特徴		
7	猫種	種類別特徴		
8	中間テスト	筆記テスト		
9	猫種	種類別特徴		
10	猫種	種類別特徴		
11	猫種	表現コミュニケーション		
12	猫の病気	病気 外科		
13	猫の病気	病気 内科		
14	猫の扱い方	ボディランゲージ		
15	猫の扱い方	扱い方		
16	テスト	筆記テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：猫学		日高	■ 2年 後期
到達目標	猫を理解する	2単位 32時数	
		実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	猫について	歴史・進化	
3	猫について	現代史	
4	体の仕組み	聴覚・嗅覚	
5	行動	行動	
6	猫種	種類別特徴	
7	猫種	種類別特徴	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	猫種	種類別特徴	
10	猫種	種類別特徴	
11	猫種	表現コミュニケーション	
12	猫の病気	病気 外科	
13	猫の病気	病気 内科	
14	猫の扱い方	ボディランゲージ	
15	猫の扱い方	扱い方	
16	テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 1年 前期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 1年 後期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 2年 前期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 2年 後期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 3年 前期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：HR		吉満	■ 3年 後期	
到達目標	学級活動 個人面談		2単位 32時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
2	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
3	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
4	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
5	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
6	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
7	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
8	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
9	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
10	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
11	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
12	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
13	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
14	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
15	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		
16	学級活動 個人面談など	学生状況の確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミングA	日高	■ 3年 前期	
到達目標	各自仕上げる（犬種問わず） 仕上げの時間5時間以内	8単位 128時数	
		実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	トリミング	一人でサマーカット・全身カット	
3	トリミング	同上	
4	トリミング	同上	
5	トリミング	同上	
6	トリミング	同上	
7	トリミング	同上	
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がりの確認	
9	トリミング	同上	
10	トリミング	同上	
11	トリミング	同上	
12	トリミング	同上	
13	トリミング	同上	
14	トリミング	同上	
15	トリミング	同上	
16	テスト	仕上げの時間・仕上がりの確認	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：トリミングA		吉満	■ 3年 後期
到達目標	各就職先にあったトリミング技術の向上 犬種問わず仕上げの時間3時間以内		8単位 128時数
			実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	トリミング	C級受験者.サロン内定者.希望者は シザーでカット.病院.シヨップ内定者は丸刈り	
3	トリミング	同上 デザインカット研究	
4	トリミング	同上	
5	トリミング	同上	
6	トリミング	同上	
7	トリミング	同上	
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認	
9	トリミング	同上	
10	トリミング	同上	
11	トリミング	同上	
12	トリミング	同上	
13	トリミング	同上	
14	トリミング	同上	
15	トリミング	同上	
16	テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：キャットグルーミング		日高	■ 2年 後期	
到達目標	怪我をしない、させない 猫のグルーミングの楽しさを教える 猫の気持ちを表情・動作で理解できるようになる			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	筆記テスト
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業の説明／注意	
2	グルーミング		デモンストレーション ケージからの出し方・注意点・怪我をしない方法	
3	グルーミング		時間をかけないグルーミング (2人で1頭)	
4	グルーミング		同上	
5	グルーミング		同上	
6	グルーミング		同上	
7	グルーミング		同上	
8	中間テスト		テスト	
9	グルーミング		同上	
10	グルーミング		同上	
11	グルーミング		同上	
12	グルーミング		同上	
13	グルーミング		同上	
14	グルーミング		同上	
15	グルーミング		同上	
16	テスト		テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミングB		日高	■ 3年 前期	
到達目標	全身バリカンを時間内で終わらせる 怪我をさせないバリカンの当て方 カットの綺麗さ・バランスを意識			8単位 128時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	トリミング	2人で1頭時間内に終わらせる		
3	トリミング	同上		
4	トリミング	同上		
5	トリミング	同上		
6	トリミング	同上		
7	トリミング	同上		
8	中間テスト	シザーリング・コーミング・バリカンの当て方		
9	トリミング	同上 できる学生は一人で1頭仕上げる		
10	トリミング	同上		
11	トリミング	同上		
12	トリミング	同上		
13	トリミング	同上		
14	トリミング	同上		
15	トリミング	同上		
16	テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミングB		谷川・日高	■ 3年 後期	
到達目標	各就職先にあったトリミング技術の向上 個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ			8単位 128時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	トリミング	丸刈り		
3	トリミング	同上		
4	トリミング	同上		
5	トリミング	同上		
6	トリミング	同上		
7	トリミング	同上		
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認		
9	トリミング	同上		
10	トリミング	同上		
11	トリミング	同上		
12	トリミング	同上		
13	トリミング	同上		
14	トリミング	同上		
15	トリミング	同上		
16	テスト	仕上げの時間・仕上がり確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミングC		日高	■ 3年 前期	
到達目標	全身バリカンを時間内で終わらせる 怪我をさせないバリカンの当て方 カットの綺麗さ・バランスを意識			8単位 128時数
				実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	トリミング	2人で1頭時間内に終わらせる		
3	トリミング	同上		
4	トリミング	同上		
5	トリミング	同上		
6	トリミング	同上		
7	トリミング	同上		
8	中間テスト	シザーリング・コーミング・バリカンの当て方		
9	トリミング	同上 できる学生は一人で1頭仕上げる		
10	トリミング	同上		
11	トリミング	同上		
12	トリミング	同上		
13	トリミング	同上		
14	トリミング	同上		
15	トリミング	同上		
16	テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：トリミングC		谷川・日高	■ 3年 後期	
到達目標	各就職先にあったトリミング技術の向上 個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ			8単位 128時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲		
2	トリミング	丸刈り		
3	トリミング	同上		
4	トリミング	同上		
5	トリミング	同上		
6	トリミング	同上		
7	トリミング	同上		
8	中間テスト	仕上げの時間・仕上がり具合の確認		
9	トリミング	同上		
10	トリミング	同上		
11	トリミング	同上		
12	トリミング	同上		
13	トリミング	同上		
14	トリミング	同上		
15	トリミング	同上		
16	テスト	仕上げの時間・仕上がり確認		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：ドッグトレーニング基礎	間	■ 3年 前期
到達目標	基本動作を理解している 犬それぞれの性格を理解し、コントロールしている	8単位 128時数 実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題) 備考
1	導入授業	授業概要／注意事項
2	コミュニケーションをとる	犬に声をかけたり動かし 性格を見る
3	コミュニケーションをとる	犬の性格カルテを作成
4	リードや体を使い誘導する	リードの使い方
5	リードや体を使い誘導する	リードの使い方
6	基本動作を誘導する	基本動作を誘導する
7	「褒める」を動作に加える	声を出す 動く
8	中間テスト	コースを回る
9	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認
10	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認
11	リード・声・動作でのコントロール	同上
12	リード・声・動作でのコントロール	同上
13	声・動作のみのコントロール	同上
14	声・動作のみのコントロール	2人一組でお互いの動きを確認
15	テスト練習	歩行訓練
16	テスト	テスト

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：ドッグトレーニング基礎		間	■ 3年 後期	
到達目標	トレーニング基礎を覚える		8単位 129時数	
			実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業の到達イメージ 授業の学習範囲		
2	道具の名前・使い方	犬への接し方・注意点		
3	道具の名前・使い方	コマンドの使い方 動き方/注意点		
4	リードの使い方	コマンド練習		
5	リードの使い方	コマンド練習		
6	リーダーウォーク	まっすぐ歩く		
7	リーダーウォーク	方向転換		
8	テスト	リード・コマンド		
9	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
10	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
11	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
12	基本動作	ハウス・リーダーウォーク 待て～来い		
13	基本動作	座れ～来い リーダーウォーク		
14	テスト内容での練習	座れ・伏せ・待て・来い・ リーダーウォークなどの実技テスト練習		
15	テスト	座れ～リーダーウォーク		
16	ドッグコントロール	保定について		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：ドッグトレーニングⅠ		間	■ 3年 前期
到達目標	犬の問題行動の意味を考え、理解する 問題行動への対処法を理解し、行動する	8単位 128時数	
		実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要、学習範囲	
2	問題行動	問題行動とストレス	
3	問題行動	フラストレーション・ エスカレーション	
4	問題行動	吠える主要原因	
5	問題行動	吠え方が不安・威嚇	
6	問題行動	問題行動の対処法	
7	問題行動	問題行動トレーニング	
8	中間テスト	テスト	
9	問題行動	問題行動トレーニング	
10	問題行動	咬む原因	
11	問題行動	恐怖・不安での行動	
12	問題行動	攻撃・威嚇	
13	問題行動	対処・注意点	
14	問題行動	不安で咬む	
15	問題行動	手を咬む・足を咬む	
16	テスト	実践テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：ドッグトレーニングⅡ		間	■ 3年 後期
到達目標	犬と飼い主のコミュニケーターとしての知識、技術を身につける		8単位 128時数
			実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	犬の体づくり	マッサージの有効性 マッサージケア 背筋	
3	犬の体づくり	マッサージケア フットケア	
4	犬の体づくり	マッサージケア ストレッチ ウォーミングアップ	
5	ルールの理解	モチベーションコントロール	
6	ルールの理解	モチベーションコントロール	
7	ルールの理解	モチベーションコントロール	
8	中間テスト	テスト	
9	アジリティ	ハードル・トンネル	
10	アジリティ	ハードル・トンネル	
11	アジリティ	ハードル・トンネル	
12	アジリティ	ディスク スローイング	
13	アジリティ	ディスク スローイング	
14	犬の体づくり	ドッグスポーツ栄養学	
15	アジリティ	ハードル・トンネル	
16	テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：ドッグトレーニング基礎	間	■ 3年 前期	
到達目標	基本動作を理解している 犬それぞれの性格を理解し、コントロールしている	8単位 128時数	
		実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業概要／注意事項	
2	コミュニケーションをとる	犬に声をかけたり動かし 性格を見る	
3	コミュニケーションをとる	犬の性格カルテを作成	
4	リードや体を使い誘導する	リードの使い方	
5	リードや体を使い誘導する	リードの使い方	
6	基本動作を誘導する	基本動作を誘導する	
7	「褒める」を動作に加える	声を出す 動く	
8	中間テスト	コースを回る	
9	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認	
10	リード・声・動作でのコントロール	決められた動作を確認	
11	リード・声・動作でのコントロール	同上	
12	リード・声・動作でのコントロール	同上	
13	声・動作のみのコントロール	同上	
14	声・動作のみのコントロール	2人一組でお互いの動きを確認	
15	テスト練習	歩行訓練	
16	テスト	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：ドッグトレーニング基礎		間	■ 3年 後期	
到達目標	トレーニング基礎を覚える			8単位 129時数
				実務経験 動物病院・犬の訓練施設勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	実技・筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業の到達イメージ 授業の学習範囲		
2	道具の名前・使い方	犬への接し方・注意点		
3	道具の名前・使い方	コマンドの使い方 動き方/注意点		
4	リードの使い方	コマンド練習		
5	リードの使い方	コマンド練習		
6	リーダーウォーク	まっすぐ歩く		
7	リーダーウォーク	方向転換		
8	テスト	リード・コマンド		
9	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
10	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
11	基本動作	座れ・伏せ・ 待てリーダーウォーク		
12	基本動作	ハウス・リーダーウォーク 待て～来い		
13	基本動作	座れ～来い リーダーウォーク		
14	テスト内容での練習	座れ・伏せ・待て・来い・ リーダーウォークなどの実技テスト練習		
15	テスト	座れ～リーダーウォーク		
16	ドッグコントロール	保定について		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：ビジネスカラー		姫野	■ 1 年 前期	
到達目標	1、色彩理論及び色彩心理学の基礎を理解し、色の意味、効果、影響力について			2 単位 32 時数
	2、理論的に説明できるようにする。(占い、まじない、迷信などの違いを明らかにする)			実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ビジネスカラーとは 色のイメージ	カラーを使う仕事を調べる クラスメイトのカラーイメージ		
2	パーソナルカラーについて 1.色彩心理学・生理学(人間の目と色の関係)	パーソナリティテスト・サブジェクトカラーテスト		
3	1.色彩心理学・生理学(色彩心理学とは)	ドロイング カラーテスト		
4	1.色彩心理学・生理学(色彩生理学とは)	色相環作成		
5	2.眼のしくみ パーソナルカラー診断	トーン図作成		
6	3.光と色 パーソナルカラー診断	トーン図作成		
7	4.混色「加法混色」と「減法混色」 パーソナルカラー診断	心理効果表作成		
8	5.色の三属性・色のトーン	色相配色表作成		
9	6.色の連想・イメージ(赤～緑)	トーン配色表作成		
10	6.色の連想・イメージ(青～水色)	自分の個性のシーズンを確認		
11	6.色の連想・イメージ(茶～グレー)	色の性質・イメージ		
12	色の心理効果(暖色・寒色、進出色・後退色)	色の性質・イメージ		
13	色の心理効果(膨張・収縮、軽重、硬軟)	色の性質・イメージ		
14	前期総復習	色彩理論中心に前期内容復習		
15	前期テスト			
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：ビジネスカラー		姫野	■ 1 年 後期	
到達目標	1、色彩理論や色彩心理学に基づいて、ビジネスを構築する際に選択する色を理論的説明できるようにする。		2 単位 32 時数	
	2、ビジネスカラージュニアアドバイザー資格を取得するための学習をする		実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	色彩理論復習	色の三属性・三原色 色の視覚効果		
2	基本の配色	基本の配色 (色相配色・トーン配色)		
3	ビジネスカラー配色	1. 誰もが心地よい、快適感を満喫できる配色		
4	ビジネスカラー配色	2. 目を惹き、刺激的で興奮を促す配色		
5	ビジネスカラー配色	3. 時代を動かすトレンド的な配色		
6	ビジネスカラー理論	ビジネス戦略ツールとしてのカラーを考える		
7	カラーマーケティングとは	カラーマーケティングと色彩心理		
8	カラーイメージスケール	言語によるイメージスケール作成		
9	カラーイメージスケール	季節のイメージスケール作成		
10	カラーイメージスケール	自由課題によるイメージスケール作成		
11	カラーコーディネイト演習	画像の色分析により、レイアウト、面積比を確認する		
12	カラーコーディネイト演習	ファッションイメージカラー・広告のイメージカラー ・空間のアクセントカラー		
13	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験対策	過去問題による試験対策		
14	後期テスト	資格試験内容を踏まえた後期テスト		
15	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験	学科名：フラワービジネス学科		
16	試験解説	資格試験内容解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：スキルアップⅠ	持田	■ 1年 前期	
到達目標	1年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施 業界EXPOまでのサポート オンライン留学の実施から個々の視野を広げる	2単位 32時数	
		実務経験 トリマーとしてシヨップ勤務歴有	
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	前期授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認 履修状況確認	
2	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
5	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
6	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
7	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
8	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
9	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ビジネス分野	
10	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 IT分野	
11	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ペット分野	
12	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 スポーツビジネス分野	
13	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ファッション分野	
14	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 学生交流会	
15	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 まとめ	
16	前期まとめ	前期振り返り 後期に向けての目標等	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：キャリアアップ		持田	■ 1年 後期
到達目標	1年次の振り返りから課題を知り改善する 就職内定に向けて個別指導を行い、目標を持って取り組める体制を整える		2単位 32時数
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	前期授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認	
		履修状況確認	
2	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート	
		個別指導	
5	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
6	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
7	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
8	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
9	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
10	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
11	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
12	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
13	復習とスキルアップ	後期内容を元に実習・講義	
		個別指導	
14	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した	
		個別指導	
15	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した	
		個別指導	
16	後期まとめ	後期振り返り	
		修飾語に向けての目標等	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修I		持田	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修I		持田	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修II		持田	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修II		持田	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		4単位 64時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研III		持田	■ 3年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		4単位 64時数	
			実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅲ		持田	■ 3年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅳ		持田	■ 3年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科	
教科名：企業研修Ⅳ		持田	■ 3年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			4単位 64時数
				実務経験 トリマーとしてショップ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		